

## 廣岡恒次郎氏文書（1）概要

1: 文書群番号	084001-1
2: 文書群名	廣岡恒次郎氏文書（1）
3: 出所	廣岡九重郎家
4: 家業・役職等	-
5: 地名	摂津国川辺郡東難波村／兵庫県川辺郡東難波村／川辺郡立花村東難波／ 尼崎市東難波／尼崎市東難波町ほか
6: 行政区分	尼崎藩領／兵庫県第10区／東難波組戸長役場／立花村／尼崎市
7: 歴史	東難波の史料上の初見は永正年間（1504～1521）。近世は、元和元年（1615）より建部政長、同3年以降は尼崎藩領であった。 村高は「慶長十年摂津国絵図」に1206石余、「元禄郷帳」に1028石余、「天保郷帳」に1035石余とある。天和・貞享年間「尼崎領内高・家数・人数・船数等覚」には家数124軒、人数782人、「天明八年御巡見様御通行御用之留帳」には121軒、560人とある。
8: 伝来	廣岡九重郎家に伝わっていた史料を、昭和59年、廣岡恒次郎氏の代で、史料館へ寄贈した。
9: 史料入手先	廣岡恒次郎氏（原蔵者）
10: 点数	31点（目録件数12件）
11: 年代	天和2年（1682）～明治15年（1882）
12: 構造と内容	本文書群は、大半が近世の文書であり、①尼崎藩青山氏支配時代の法令、②土地関係文書、③近世の村政文書、④金融関係文書からなる。 ②は名寄帳写しのほか、田畑譲渡証文、地券などがあり、③は年寄・庄屋など村役人の退役願いのほか、人別送り状などがある。④は質物証文、貸付証文である。
13: 関連史料	廣岡家旧蔵襖絵水墨画・讃、廣岡家旧蔵物品
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央、松本望